

株式会社ジェイコム東葛葛飾 放送番組審議会 議事録

2018年度の放送番組審議会は、2019年3月25日(月)にジェイコム東葛葛飾で開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席

薄 葉 博 司 様	樫 村 あ い 子 様
小 林 俊 樹 様	堤 淳 子 様
松 島 英 雄 様	三 矢 慶 三 様

(50音順)

審議会議長選任

議長に薄葉様を選任した。

事業者側から J:COM チャンネルの取り組みにつき、報告があった。

【審議】(薄葉議長による進行)

■『デイリーニュース』について

(委員)「デイリーニュース」は素晴らしい番組だが、以前と比べると、流山市の情報が少ないので、流山市のイベントや防災情報をもっと増やしてほしい。

東葛エリアの初回生放送開始が17時40分だが、相撲と被らない18時開始にできないか。

葛飾区エリアのキャスターは、下を向いていることが多く気になる。

バラエティ番組に出演しているタレントの「デイリーニュース」でのインタビューは、キャスターに任せたほうが良い。おもちゃのピストルの発射場面は、見ていて印象が良くない。

(事業者)流山市の情報数については、狭域ニュース化も含めて増加を検討する。

初回放送開始時刻は、サーバーシステムの統合化により、全エリア良い時間帯での放送は難しいが検討していきたい。

■「ちば情熱アスリート」について

(委員)「ちば情熱アスリート」は、東京オリンピック前の地元選手応援が嬉しい。

■ドローン撮影について

(委員)災害報道時のドローン撮影は可能か、物資の運搬も可能か。

(事業者)ドローンは千葉メディアセンターで2台保有し、2台とも物資運搬用ではなく撮影用で、災害時以外は飛行許可が必要。今後は番組でのドローン撮影も検討していく。

■番組制作に対するご意見

(委員)番組は以前より内容が分かりやすくなってきている。流山市では人口が増加しているの、住民参加活動情報を取り上げれば番組アピールにもなり、視聴者だけでなく加入者も増加するのでは。外国人対象の番組も増やしてみても。災害報道情報は、関係地域の皆が必要とするので、地上波テレビ局が放送しない狭い地域の情報を放送してほしい。葛飾区は海拔ゼロメートル地帯が多いので、注意喚起の意味でもっと取り上げてほしい。

葛飾区・松戸市・流山市・野田市エリアの世帯数は60万世帯近くとなり、人口合計も100万人を超えているので、番組をもっと見てもらえるよう、制作スタッフには頑張ってほしい。

番組取材ネタは役所に積極的に取りに行き、地元情報をどんどん発信し、コミュニティチャンネルを有効活用して、ケーブルテレビとしての役割を果たしてほしい。J:COMは全国的なケーブルテレビとして大事なメディアであり、コミュニケーションツールである。生活に役立つ身近な地元情報を重点的に放送してほしい。視聴者プレゼント企画番組は楽しい。

同じタレントが毎日15日間も同じ番組に出ているのは放送期間が長過ぎ。再放送番組も多過ぎて飽きてくるので、番組編成を検討してほしい。

幼児や若い主婦層向け(育児・保育等)の番組が少ない。居酒屋紹介番組が見たい。

最近ケーブルテレビの加入チラシが少なくなったので、マンションなどの集合住宅へ配布すれば、もっと番組を知ってもらえるのでは。

野田市で児童虐待事件があったが、家庭や学校問題の防止番組をJ:COMらしい取り組みで全国発信してはどうか。

(事業者)15日間同じ番組の再放送は、番組制作コストとの兼ね合いで、編成は検討する。

閉会（事務局）

各委員からの貴重なご意見、ご要望を今後の番組制作に活かしていく所存である。

以上